

工学研究科前期博士課程

機械物理系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	科目修得チェック欄	備考
[熱流体工学系講義科目]						
熱力学特論	西村 伸也	1・2	講義	2		
移動現象論	加藤 健司	1・2	講義	2		
振動工学特論	川合 忠雄	1・2	講義	2		
動力システム工学特論	瀧山 武	1・2	講義	2		
応用伝熱学特論	伊與田浩志	1・2	講義	2		
メカトロニクス特論	高田 洋吾	1・2	講義	2		
数値流体力学特論	脇本 辰郎	1・2	講義	2		
[材料システム系講義科目]						
精密機械加工学	(田中 芳雄)	1・2	講義	2		
接合加工プロセス工学	佐藤 嘉洋	1・2	講義	2		
材料知能工学特論	澤田 吉裕	1・2	講義	2		
材料複合工学	逢坂 勝彦	1・2	講義	2		
高分子固体力学	吉岡 真弥	1・2	講義	2		
バイオ金属材料学	川上 洋司	1・2	講義	2		
[材料物理系講義科目]						
連続体力学特論	元木 信弥	1・2	講義	2		
波動論	山崎 友裕	1・2	講義	2		
材料強度物理学	A. ビノグラドフ	1・2	講義	2		
バイオニクス材料工学特論	横川 善之	1・2	講義	2		
ナノ構造材料工学	中村 篤智	1・2	講義	2		
分子動力学	(清原 健司)	1・2	講義	2		集中
結晶塑性強度論	兼子 佳久	1・2	講義	2		
[応用数学講義科目]						
現代解析学	多羅間 茂雄	1・2	講義	2		
微分方程式特論	多羅間 茂雄	1・2	講義	2		
応用解析学特論	多羅間 茂雄	1・2	講義	2		
[他専攻講義科目]						
(他専攻の表を参照のこと)		1・2	講義	各2		
[演習科目]						
特別演習	各教員	1・2	演習	8		
[特別研究科目]						
前期特別研究	各教員	1・2	演習	8		
[特別講義科目]						
特別講義Ⅰ	(佐々木 敏彦) (谷本 隆一) (津田 浩)	1・2	講義	2		集中
特別講義Ⅱ	(栗田 裕) (坂本 満) (中西 重康)	1・2	講義	2		集中

- 1) 指導教員の提供する講義科目1科目(2単位)及び前期特別研究(8単位)を必修とする。
- 2) 熱流体工学系、材料システム系、材料物理系及び応用数学の各講義科目群から1科目以上(各2単位、計8単位以上)を選択必修とする。
- 3) 特別演習(8単位)を必修とする。
- 4) 他専攻講義科目については2科目(4単位)を上限として課程修了単位に含めることができる。
- 5) 特別講義科目については、上記1)～3)を満たしたうえで課程修了単位に含めることができる。
- 6) 課程修了には、合計30単位以上の修得を必要とする。
- 7) 修士(工学)の学位を取得するためには、上記の課程修了要件に加えて、修士論文を提出し、所定の審査及び試験に合格する必要がある。
- 8) 科目の内容については、シラバスを参考にすること。
- 9) 表内の科目修得チェック欄を活用し、各自修得状況の把握に努めて下さい。

電子情報系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	科目修得チェック欄	備考
[電子エネルギー系講義科目]						
電子回路特論	會田 田人	1・2	講義	2		
電子・イオンビーム光学特論	小林 中	1・2	講義	2		
電子物理工学特論	細田 誠	1・2	講義	2		
応用分光計測学特論	熊谷 寛	1・2	講義	2		
光通信デバイス特論	杉山 久佳	1・2	講義	2		
電磁デバイス特論	辻本 浩章	1・2	講義	2		
ソフトウェア特論	(関谷 昭・橋本則之)	1・2	講義	2		
計算機工学特論	(辰巳 昭治)	1・2	講義	2		
電子応用特論	(岸本圭司・角谷和重)	1・2	講義	2		
[物理物性系講義科目]						
光物性工学特論	金 大貴	1・2	講義	2		
物性制御工学特論	中山 弘	1・2	講義	2		
量子力学特論	寺井 章	1・2	講義	2		
表面科学特論	福田 常男	1・2	講義	2		
半導体物理学特論	中山 正昭	1・2	講義	2		
数理工学特論	杉田 歩	1・2	講義	2		
プラズマプロセス工学特論	白藤 立	1・2	講義	2		
光工学特論	向井 孝彰	1・2	講義	2		
応用数理特論	(山崎 義弘)	1・2	講義	2		
物質応用特論	(小野 嘉之)	1・2	講義	2		
[情報通信系講義科目]						
3次元画像工学特論	高橋 秀也	1・2	講義	2		
光波電子工学特論	宮崎 大介	1・2	講義	2		
光計測学特論	(峯本 工)	1・2	講義	2		
ソフトウェア設計特論	柳原 圭雄	1・2	講義	2		
信号理論特論	鳥生 隆	1・2	講義	2		
言語処理系特論	()	1・2	講義	2		西暦奇数年開講
アルゴリズムとデータ構造特論	中島 重義	1・2	講義	2		西暦偶数年開講
知識情報処理特論	(辰巳 昭治)	1・2	講義	2		
知能ロボティクス特論	上野 敦志	1・2	講義	2		西暦奇数年開講
デジタル通信特論	岡 育生・阿多 信吾	1・2	講義	2		
通信システム特論	原 晋介	1・2	講義	2		
通信方式特論	辻岡 哲夫	1・2	講義	2		西暦偶数年開講
基礎情報学特論	(馬野 元英)	1・2	講義	2		
[他専攻系講義科目]						
(他専攻の表を参照のこと)		1・2	講義	各2		
[演習科目]						
特別演習(電気工学I)	白藤立・向井孝彰・村治雅文	1・2	演習	2		
特別演習(電気工学II)	電気工学講座教員	1・2	演習	2		
特別演習(応用物理学I)	中山正昭・寺井章・杉田歩	1・2	演習	2		
特別演習(応用物理学II)	小林中・福田常男・菜嶋茂喜	1・2	演習	2		
特別演習(情報工学I)	阿多 信吾	1・2	演習	2		
特別演習(情報工学II)	柳原圭雄	1・2	演習	2		

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	科目修得チェック欄	
特別演習(電磁気学I)	白藤 立・武智誠次	1・2	演習	2		
特別演習(電磁気学II)	白藤 立・武智誠次	1・2	演習	2		
特別演習(電子集積回路工学I)	會田田人・高橋秀也	1・2	演習	2		
特別演習(電子集積回路工学II)	會田田人・高橋秀也	1・2	演習	2		
特別演習(材料計測工学I)	白藤 立・田中健司	1・2	演習	2		
特別演習(材料計測工学II)	白藤 立・田中健司	1・2	演習	2		
特別演習(光電子工学I)	向井孝彰・宮崎大介	1・2	演習	2		
特別演習(光電子工学II)	向井孝彰・宮崎大介	1・2	演習	2		
特別演習(電磁デバイス工学I)	辻本浩章・村治雅文	1・2	演習	2		
特別演習(電磁デバイス工学II)	辻本浩章・村治雅文	1・2	演習	2		
特別演習(光物性工学I)	中山正昭・金 大貴	1・2	演習	2		
特別演習(光物性工学II)	中山正昭・金 大貴	1・2	演習	2		
特別演習(物性制御工学I)	中山 弘・福田常男	1・2	演習	2		
特別演習(物性制御工学II)	中山 弘・福田常男	1・2	演習	2		
特別演習(波動物理工学I)	細田 誠・菜嶋茂喜	1・2	演習	2		
特別演習(波動物理工学II)	細田 誠・菜嶋茂喜	1・2	演習	2		
特別演習(応用分光計測学I)	熊谷 寛・小林 中	1・2	演習	2		
特別演習(応用分光計測学II)	熊谷 寛・小林 中	1・2	演習	2		
特別演習(数理工学I)	寺井 章・杉田 歩	1・2	演習	2		
特別演習(数理工学II)	寺井 章・杉田 歩	1・2	演習	2		
特別演習(情報システム工学I)	柳原圭雄	1・2	演習	2		
特別演習(情報システム工学II)	柳原圭雄	1・2	演習	2		
特別演習(情報処理工学I)	鳥生隆・中島重義	1・2	演習	2		
特別演習(情報処理工学II)	鳥生隆・中島重義	1・2	演習	2		
特別演習(知識情報処理工学I)	(辰巳昭治)・上野 敦志	1・2	演習	2		
特別演習(知識情報処理工学II)	(辰巳昭治)・上野 敦志	1・2	演習	2		
特別演習(情報ネットワーク工学I)	岡 育生・阿多信吾	1・2	演習	2		
特別演習(情報ネットワーク工学II)	岡 育生・阿多信吾	1・2	演習	2		
特別演習(通信システム工学I)	原晋介・杉山久佳・辻岡哲夫	1・2	演習	2		
特別演習(通信システム工学II)	原晋介・杉山久佳・辻岡哲夫	1・2	演習	2		
	[特別研究科目]					
前期特別研究	各教員	1・2	演習	8		
特別講義 I	(小川 倉一)	1・2	講義	1		
特別講義 II	(尾上 順)	1・2	講義	1		
特別講義 III	(溝渕 豊)	1・2	講義	1		
特別講義 IV	(森田 哲郎)	1・2	講義	1		
特別講義 V	(河北 真宏・森田 寿哉)	1・2	講義	1		

- 1) 指導教員の提供する講義科目1科目(2単位)、指導教員の講座が講座共通として提供する特別演習科目2科目(4単位)、及び前期特別研究(8単位)を必修とする。
- 2) 電子エネルギー系、物理物性系及び情報通信系の各講義科目群から1科目以上(各2単位、計6単位以上)を選択必修とする。
- 3) 他専攻講義科目については2科目(4単位)を上限として課程修了単位に含めることができる。
- 4) 課程修了には、講義科目7科目(14単位)以上、特別演習科目4科目(8単位)以上を含めて、合計30単位以上の修得を必要とする。
- 5) 修士(工学)の学位を取得するためには、上記の課程修了要件に加えて、修士論文を提出し、所定の審査及び試験に合格する必要がある。
- 6) 科目の内容については、シラバスを参考にすること。
- 7) 表内の科目修得チェック欄を活用し、各自修得状況の把握に努めて下さい。

化学生物系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	科目修得チェック欄	備考
[物質化学系講義科目]						
無機材料化学特論	小槻勉・有吉欽吾	1・2	講義	2		
電気化学特論	小槻 勉	1・2	講義	2		
高分子合成化学特論	松本 章一	1・2	講義	2		
高分子材料特論	佐藤 絵理子	1・2	講義	2		
機器分析学特論	辻 幸一	1・2	講義	2		
レーザー化学特論	米谷 紀嗣	1・2	講義	2		
[分子化学系講義科目]						
有機合成化学特論	南 達哉	1・2	講義	2		
超分子化学特論	長崎 健	1・2	講義	2		
蛋白質工学特論	中西 猛	1・2	講義	2		
分子触媒化学特論	畠中 康夫	1・2	講義	2		
光有機材料化学特論	小畠 誠也	1・2	講義	2		
[生物工学系講義科目]						
構造及びゲノム生物学特論	北村 昌也	1・2	講義	2		
細胞情報学特論	立花 太郎	1・2	講義	2		
酵素化学特論	中野 博文	1・2	講義	2		
生体高分子化学特論	田辺 利住	1・2	講義	2		
機能分子工学特論	立花 亮	1・2	講義	2		
細胞利用工学特論	東 雅之	1・2	講義	2		
生物化学工学特論	大嶋 寛	1・2	講義	2		
[特別講義科目]						
特別講義Ⅰ（2回生 XⅠ）	（中島 剛）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅱ（2回生 XⅡ）	（中谷 和彦）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅲ（2回生 XⅢ）	（宮坂 博）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅳ（2回生 XⅣ）	（中許 昌美）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅴ（2回生 XⅤ）	（右手 浩一）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅵ（2回生 XⅥ）	（安達 修二）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅶ（2回生 XⅦ）	（秋吉 一成）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅷ（2回生 XⅧ）	（平松 隆司）	1・2	講義	1		
特別講義Ⅸ（2回生 XⅨ）	（西矢 芳昭）	1・2	講義	1		
[他専攻講義科目]						
（他専攻の表を参照のこと）		1・2	講義	各2		
[演習科目]						
特別演習	各教員	1・2	演習	8		
[特別研究科目]						
前期特別研究	各教員	1・2	演習	8		

- 1) 指導教員の提供する講義科目 1 科目（2 単位）及び前期特別研究（8 単位）を必修とする。
- 2) 物質化学系、分子化学系及び生物工学系の各講義科目群から 1 科目以上（各 2 単位、計 6 単位以上）を選択必修とする。
- 3) 特別講義科目は 6 科目（6 単位）を上限として課程修了科目に加えることができる。
- 4) 特別演習（8 単位）を必修とする。
- 5) 他専攻講義科目については、2 科目（4 単位）を上限として課程修了単位に含めることができる。
- 6) 課程修了には、合計 30 単位以上の修得を必要とする。
- 7) 修士（工学）の学位を取得するためには、上記の課程修了要件に加えて、修士論文を提出し、所定の審査及び試験に合格する必要がある。
- 8) 科目の内容については、シラバスを参考にすること。
- 9) 表内の科目修得チェック欄を活用し、各自修得状況の把握に努めて下さい。

都市系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	科目修得チェック欄	備考
[計画系講義科目]						
建築計画特論	横山 俊祐 徳尾野 徹	1・2	講義	2		※1意匠
建築デザイン特論	宮本 佳明	1・2	講義	2		※1意匠
都市・建築史	倉方 俊輔	1・2	講義	2		
都市計画特論	嘉名 光市 佐久間康富	1・2	講義	2		
都市デザイン特論	嘉名 光市 佐久間康富	1・2	講義	2		
生態環境都市論	(増田 昇)	1・2	講義	2		
都市基盤計画特論	日野 泰雄	1・2	講義	2		
交通計画特論	内田 敬	1・2	講義	2		
[環境系講義科目]						
視聴覚環境論	梅宮 典子	1・2	講義	2		
温熱・空気環境論	鍋島美奈子	1・2	講義	2		
都市エネルギー工学特論	中尾 正喜	1・2	講義	2		※1設備
地域環境工学特論	西岡 真稔	1・2	講義	2		
環境情報処理特論	鈴木 広隆	1・2	講義	2		
水環境工学特論	貫上 佳則	1・2	講義	2		
水圏生態系工学特論	矢持 進	1・2	講義	2		
都市資源リサイクル工学特論	水谷 聡	1・2	講義	2		
[構造系講義科目]						
空間構造学	谷口 与史也	1・2	講義	2		※1構造
鋼構造学特論	山口 隆司	1・2	講義	2		
複合構造学	鬼頭 宏明	1・2	講義	2		
連続体力学	山口 隆司 鬼頭 宏明	1・2	講義	2		
維持管理マネジメント特論	大内 一	1・2	講義	2		
最適設計・耐震設計論	(上谷 宏二)	1・2	講義	2		※1構造
地盤工学特論	大島 昭彦	1・2	講義	2		
風工学特論	谷池 義人	1・2	講義	2		※1構造
流体環境・水防災工学特論	重松 孝昌	1・2	講義	2		
地盤防災工学特論	東田 淳	1・2	講義	2		

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	科目修得チェック欄	備考
[他専攻講義科目]						
(他専攻の表を参照のこと)		1・2	講義	各2		
[演習科目]						
特別演習(建築設計演習Ⅰ)	横山 俊祐	1・2	演習	2		※1意匠
特別演習(建築設計演習Ⅱ)	宮本 佳明	1・2	演習	2		※1意匠
特別演習(建築構法)	藤本 益美	1・2	演習	2		
特別演習(建築史)	倉方 俊輔	1・2	演習	2		
特別演習(都市計画Ⅰ)	嘉名 光市 (後藤 祐介)	1・2	演習	2		
特別演習(都市計画Ⅱ)	嘉名光市 ・佐久間康富 ・(三谷幸司)	1・2	演習	2		
特別演習(都市基盤計画Ⅰ)	日野 泰雄	1・2	演習	2		
特別演習(都市基盤計画Ⅱ)	内田 敬 吉田 長裕	1・2	演習	2		
特別演習(建築環境工学)	梅宮 典子	1・2	演習	2		※1設備
特別演習(環境図形科学)	鈴木 広隆	1・2	演習	2		※1設備
特別演習(都市エネルギー工学)	中尾 正喜	1・2	演習	2		※1設備
特別演習(地域環境工学)	西岡 真稔	1・2	演習	2		※1設備
特別演習(環境生態工学)	矢持 進 遠藤 徹	1・2	演習	2		
特別演習(都市リサイクル工学Ⅰ)	貫上 佳則 水谷 聡	1・2	演習	2		
特別演習(都市リサイクル工学Ⅱ)	水谷 聡 貫上 佳則	1・2	演習	2		
特別演習(河海環境構造工学)	重松 孝昌	1・2	演習	2		
特別演習(建築構造学Ⅰ)	谷口 与史也	1・2	演習	2		
特別演習(建築構造学Ⅱ)	吉中 進	1・2	演習	2		
特別演習(橋梁工学Ⅰ)	山口 隆司 松村 政秀	1・2	演習	2		
特別演習(橋梁工学Ⅱ)	山口 隆司	1・2	演習	2		
特別演習(構造工学Ⅰ)	大内 一	1・2	演習	2		
特別演習(構造工学Ⅱ)	鬼頭 宏明	1・2	演習	2		
特別演習(地盤工学Ⅰ)	東田 淳	1・2	演習	2		
特別演習(地盤工学Ⅱ)	大島 昭彦	1・2	演習	2		

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	科目修得チェック欄	備考
特別演習（風工学）	谷池 義人	1・2	演習	2		
特別演習（建築材料リサイクル）	木内 龍彦	1・2	演習	2		
[建築士実務経験対応科目]						
システムビルディング論	(本多 友常)	1・2	講義	2		※2共通
設計プロジェクトマネジメント特論	(衛藤 照夫)	1・2	講義	2		※2共通
特別演習（建築構造実験）	谷口 徹郎 谷口 与史也	1・2	演習	2		※1構造
特別演習（建築構造設計演習）	木内 龍彦 吉中 進	1・2	演習	2		※2構造
建築プログラム演習	(原 正二郎)	1・2	演習	2		※2意匠
建築工事監理実習	(大淵 敏行)	1・2	実習	2		※2共通
インターンシップⅠ（意匠）	宮本 佳明	1	実習	5		※2意匠
（構造）	各教員	1・2	実習	5		※2構造
（設備）	梅宮 典子他	1	実習	2		※2設備
インターンシップⅡ（意匠）	横山 俊祐	1	実習	5		※2意匠
（設備）	梅宮 典子他	1	実習	3		※2設備
インターンシップⅢ（意匠）	徳尾野 徹	2	実習	5		※2意匠
（設備）	梅宮 典子他	1	実習	5		※2設備
インターンシップⅣ（設備）	梅宮 典子他	2	実習	5		※2設備
[特別研究科目]						
前期特別研究	各教員	1・2	演習	8		

- 1) 指導教員の提供する講義科目1科目（2単位）及び前期特別研究（8単位）を必修とする。
- 2) 計画系、環境系及び構造系の各講義科目群のうち複数の科目群から1科目以上（各2単位、計4単位以上）を選択必修とする。
- 3) 他専攻講義科目については、2科目（4単位）を上限として課程修了単位に含めることができる。
- 4) 課程修了には、講義科目7科目（14単位）以上、特別演習科目4科目（8単位）以上を含めて、合計30単位以上の修得を必要とする。
- 6) 修士（工学）の学位を取得するためには、上記の課程修了要件に加えて、修士論文を提出し、所定の審査及び試験に合格する必要がある。
- 7) 科目の内容については、シラバスを参考にすること。
- 8) 表内の科目修得チェック欄を活用し、各自修得状況の把握に努めて下さい。
- 9) 備考欄※1印の科目は建築士実務経験対応科目である。
- 10) 備考欄※2印の科目は建築士実務経験対応科目であり、修了要件に含まない。

工学研究科後期博士課程

機械物理系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	備考
ゼミナール	各教員	1・2・3	演習	2	
後期特別研究	各教員	1・2・3	演習	4	

- 1) 後期特別研究（4単位）及びゼミナール（2単位）を必修とする。
- 2) 課程修了には上記を含めて合計6単位以上の修得を必要とする。
- 3) 博士（工学）の学位を取得するためには、上記に加えて博士論文の審査及び試験に合格することが必要である。

電子情報系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	備考
ゼミナール	各教員	1・2・3	演習	2	
後期特別研究	各教員	1・2・3	演習	4	

- 1) 後期特別研究（4単位）及びゼミナール（2単位）を必修とする。
- 2) 課程修了には上記を含めて合計6単位以上の修得を必要とする。
- 3) 博士（工学）の学位を取得するためには、上記に加えて博士論文の審査及び試験に合格することが必要である。

工学研究科後期博士課程

化学生物系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	備考
ゼミナール	各教員	1・2・3	演習	2	
後期特別研究	各教員	1・2・3	演習	4	

- 1) 後期特別研究（4単位）及びゼミナール（2単位）を必修とする。
- 2) 課程修了には上記を含めて合計6単位以上の修得を必要とする。
- 3) 博士（工学）の学位を取得するためには、上記に加えて博士論文の審査及び試験に合格することが必要である。

都市系専攻

科目名	担当者	配当年次	科目の形態	単位数	備考
ゼミナール	各教員	1・2・3	演習	2	
後期特別研究	各教員	1・2・3	演習	4	

- 1) 後期特別研究（4単位）及びゼミナール（2単位）を必修とする。
- 2) 課程修了には上記を含めて合計6単位以上の修得を必要とする。
- 3) 博士（工学）の学位を取得するためには、上記に加えて博士論文の審査及び試験に合格することが必要である。